

ロシア（極東）

「2013年までの極東ザバイカル経済社会発展プログラム」の採択

2007年11月21日、ロシア政府は「1996～2005年および2010年までの極東およびザバイカル経済社会発展連邦特別プログラム」を2013年まで延長した改訂版（以下、対象年を外した部分を「極東ザバイカルプログラム」と略）を承認した。

プーチン大統領は2000年に現職に就任して以来、絶えず、ロシア極東地域の経済発展が、アジア太平洋の新興市場にロシアが参入を図る上での必須条件であり、また同開発が滞っていることがロシアの地政学的利益をも損ねかねない旨、機会あるごとに強調してきた。ところが、在任期間（2期8年）の間にロシア経済が世界市場における油価急高騰のあおりを受けて急成長を遂げてきたにも拘わらず、大統領の警鐘に反し、ロシア関係省庁がそれぞれ本腰を入れて極東開発に傾注してきたとは言い難かった。プーチン大統領第一期目の2002年3月に、初版の「1996～2005年の極東ザバイカルプログラム」を2010年まで延長する形で一度改訂したが、その効果が現れることなく、今回の期限再延長となっている。

プーチン大統領第二期目の経済発展状況を見てみよう。2004年から2006年にかけてロシア全体の国内総生産は、7.4%、7.6%、6.5%の前年比増加率を達成してきたが、極東ザバイカル地域だけに限ってみると、4.1%、2.5%、3.5%といずれも下回った（極東ザバイカル協会事務局対外経済関係局発表）。2006年時点で極東連邦管区の地域内総生産は9,426億ルーブルで、7つの連邦管区のうち最下位であった。

全国土の40%以上を占める広大なロシア極東は、1km²あたり約1人の人口密度しかないが、経済成長がプラスに転じた1990年代末以降も人口が減少し続けており（2007年時点で、650万人を下回る）、慢性的な労働人口不足が深刻化している。住民の21.2%が最低生活水準所得以下で暮らしている（全国平均は17.6%）。極度に経済・社会インフラが未整備状態に置かれ、電気料金や暖房料金は全国水準よりも高価であり、ただでさえ国内・国際競争力に乏しい企業の生産コストが高い。連邦政策による積極的な産業政策と投資をなくしては、オイル・ガスブームに沸くサハリン州を除き、ロシア極東はますます取り残されていくというのがロシア内外専門家のほぼ一致した見方だ。

「2010年までの極東ザバイカルプログラム」は、全体の予算規模（2006年価格）が1,917億2,766万ルーブルで、そのうち連邦予算からの拠出額は203億7,000万ルーブル

（10.62%）しか計上されていなかった。2002～2006年に当初74億4,564万ルーブルの執行計画であったが、実際には60億8,723万ルーブルと下回った。2007年になってようやく当初予定（41億9,928万ルーブル）以上の42億578万ルーブルが執行された。

今次発表された「2013年までの極東ザバイカルプログラム」では、全体の予算規模が5,670億870万ルーブルと拡大し、連邦予算からの拠出額が4,262億7,120万ルーブル（75.2%）を占めている。

連邦予算拠出金の配分を比較してみると、前回の極東ザバイカルプログラムでは技術インフラ（45%）、燃料・エネルギー部門（23%）、社会インフラ（21%）、水産業（7%）、輸送部門（2%）、その他（2%）、通信（0.1%）の順であったのに対し、改訂版プログラムでは、輸送部門（58%）、燃料エネルギー部門（23%）、技術インフラ（8%）、社会インフラ（7%）、その他（2%）、水産業（1%）、通信（1%）となっている。

改訂版「極東ザバイカルプログラム」では、2013までに対2007年比で地域内総生産2.6倍増、製品出荷規模2.3倍増、固定資本投資3.5倍増という非常に野心的な目標値が記された。

下院選挙の結果と影響

2007年12月2日に実施されたロシア下院議会選挙では、比例名簿第一位にプーチン大統領をいざく政党「統一ロシア」が全国得票率64.3%を獲得し、450議席中315議席を占め圧勝した。他方、12月10日には、プーチン大統領が2008年3月に実施される大統領選挙の候補者としてドミトリー・メドベージェフ第一副首相を後継者として支持する旨表明した。その直後に、後者はプーチン大統領が次期首相に就任することを要請する旨明言し、同大統領もメドベージェフ次期大統領が誕生することを条件に受け入れた。

すでに、メドベージェフ新大統領とプーチン新首相の体制が誕生することが確実視されている。プーチン大統領は退任後も、新大統領の後見人として影響力を温存するのみならず、「従順な」議会を背景に、連邦政府を直接的に動かすことになる。果たしてどの程度まで、これまで自ら強調してきた極東開発が達成されるのであろうか。極東開発を加速化していく上での国内政治的基盤は堅固なものになったが、新首相は関係省庁を首尾良くまとめあげ、今度こそ極東開発を本格化することが出来るのであろうか。その手腕を注目していきたい。

（ERINA調査研究部研究主任 伊藤庄一）

¹ 極東ザバイカル地域とは、行政区分上、極東連邦管区に含まれる（サハ共和国、ハバロフスク地方、沿海地方、アムール州、サハリン州、カムチャツカ州、マガダン州、ユダヤ自治州、チュコト自治管区）に、シベリア連邦管区に含まれるチタ州とブリヤート共和国を合わせた地域を指す。